

# かやばの丘

学校新聞第123号  
令和3年12月17日発行

学校HPが新しくなりました！  
<https://iwami-yogo.ed.jp/>  
QRコードからも  
ご覧いただけます。



高等部2組美術合同作品  
職員室前階段に掲示中

## 「歩みを止めない その2」

教頭 神谷 陽一

「コロナ禍」と言われ始めて、早2年が経とうとしています。

今年は、ウイルスの型を変えながら断続的に流行が見られました。その中でも第5波でのデルタ株の大流行は、私たちの生活や心身の健康に大きな影響を与えました。

本校では、このような状況の中でも昨年度のかやばの丘120号で記した『歩みを止めない』という言葉に胸にとどめ、感染防止対策をしながら工夫をして教育活動を進めてきました。感染対策のため制限があり、規模縮小を余儀なくされたものの体育祭や石見もりもり祭り、修学旅行などの学校行事を実施しました。また、校外学習や交流及び共同学習、米作り体験やIWAMIマルシェなど地域と連携した活動も可能な限り実施していきました。

『歩みを止めない』ように教育活動を継続していく中で見えてきたものがあります。それは、子どもたちの笑顔と成長した姿でした。子どもたちが一つ一つの活動に主体的に取り組み、自分を表現していくことで学習に対する満足感や意欲を高め、笑顔につながったのではないかと思います。また、様々な教育活動を積み重ねていくことで活動ごとに子どもたちの成長が感じられ、学校目標である「自立・協働・貢献」というめざす姿に一步一步近づいているようにも感じます。学校全体を見回してみると、昨年度感じていた閉塞感も徐々に薄れつつあり、子どもたちも教職員もできないことを嘆くのではなく、できることを探してやっていこうという前向きな気持ちになってきていることに気付かされます。

『置かれた場所で咲きなさい。』

この言葉は、ノートルダム清心学園で理事長を務められた渡辺和子さんの著書に出てくる言葉です。この言葉の通り、現状を憂い嘆くのではなく、今だからこそできることや今しかできないことを模索し、子どもたちにとって最大限の教育活動を提供していく姿勢を持ち続けていきたいと思えます。

オミクロン株の流行により第6波が来るのではとされている今日この頃ですが、どのような状況になっても子どもたちの笑顔と成長のために『歩みを止めない』という言葉に胸に前へ進んでいきたいと思えます。引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 「石見もりもり祭」

ゆうおうまいしん

勇往邁進～みんなで目標に向かって突き進め!笑顔でもりもり祭を楽しもう～

子ども支援部 水

もりもり祭については  
HPにも掲載しています↓



11月20日(土) 暖かな日差しの中、学校評議員の方々や保護者の皆様を招いて「石見もりもり祭」を開催しました。

前半のステージ発表は、高等部音楽チーム&神楽同好会による「吹奏楽のための石見神楽より」で始まりました。迫力のある演奏と神楽の舞いに、会場は一気に盛り上がりました。高等部発表の「人間すごろく～絆～」は、3年生が中心となって企画を考え、みんなで協力して制作した動画を流しました。一人一人の伝えたいことが詰まった発表となりました。小・中学部の劇「IWAMIオリンピック2021～感動をもう一度～」では、聖火リレーや剣道・体操・トライアスロンなどの競技を通して一人一人の頑張りが輝き、表彰式の場面では感動がよみがえりました。

後半の販売活動では、中学部と高等部の4つの作業班(園芸班・製菓班・窯業班・木工班)が心を込めて作った製品が並び、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と元気な声が会場に響くとたくさんのお客さんが来てくださいました。短い時間ではありましたが、嬉しそうに買ってもらったり、「すてきな製品ね」と言葉をかけてもらったりすることが生徒たちの喜びにもなり、次への意欲につながりました。

フィナーレでは、児童生徒会執行部が中心になって作った、「もりもり祭当日までのメイキング動画」をみんなで鑑賞しました。本番に向かって何度も練習する姿や、どんな発表にしようかと真剣に話し合う姿を見ながら、自分や仲間の頑張りを味わう時間となりました。

たくさんの方に支えてもらいながら当日をむかえることができました。ありがとうございました。



## 小・中学部『遠足』

小・中学部（重利）

10月6日(水)に、小・中学部全員で「香木の森公園」へ遠足へ行きました。

「なかまといっしょ」のテーマのもと、チームに分かれてゴールを目指しました。公園に到着したら、レクをして盛り上がりました。

小中学部全員でのすてきな思い出が、また一つ増えました。



HPにも掲載しております。↑上のQRコードをご覧ください。



## 高等部『修学旅行』

高等部（内田）

12月2、3日に松江市に行きました。県内で日程縮小の形にはなりましたが、「知る・発見する」「自分のことは自分でする・集団のきまりを守る」「社会生活のマナーをみにつける」の目標のもと、たくさんの経験をし、思い出と学びのある修学旅行となりました。

今回学んだことをいかし、今後の生活に期待をもって、さらに意欲的に取り組んでくれることを期待しています。



松江養護学校乃木校舎見学

## 寄宿舎『焼きいもをしました』

寄宿舎（門脇）

小春日和の11月17日(水)に、寄宿舎中庭で「焼きいも」をしました。前夜、さつまいもにアルミホイルを巻いて準備していた生徒たち。

園芸班で育てたさつまいも（シナノスイート）は、焼いて二つに折ると湯気と共にきれいな黄金色の実が出てきました。

しっとりとした甘いも。スプーンですくって「おいしい〜♡」とみんな笑顔に。楽しく和やかな秋の夕暮れ時を過ごすことができました。



## 避難訓練

総務部（内田）

10月26日(火)に地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

事前に各学級で、地震の危険性や発生時にとる行動等を学習してから、訓練に臨みました。

緊急地震速報がきこえると、学習したことを実践し、机の下に入ったりヘルメットかぶったりして、安全確保行動をとることができていました。また、放送をよく聞いて設定した通行不可箇所を確認し、安全な経路で避難することもできました。

くりかえし学習し、自分の命を守るための力を身につけていきたいと思います。

おさない はしらない



しゃべらない もどらない



## 人権教育関係

人権教育推進委員（林）

10月に「性の多様性」について、職員研修を2回行いました。

学校現場においては、児童生徒の違いを認め合い、自分らしさを大切にできるような学級経営が求められています。2回の研修とも、性のあり方やLGBTQ+についての基礎的な内容について理解した後、学校でできることについてのワークをしたり、当事者の方の話を聞いたりして内容を深めていきました。

性の多様性について、多くの情報が出る中、自身の理解が不十分なまま、ということがあります。しかし、今回のような学びの場があることは、自分の視野を広げたり考え方を柔軟にしたりするためにとっても大切だと思いました。

価値観の捉え方についても、感じ方はそれぞれだと思いますが、今後も知識のアップデートをしていながら、性の多様性を受け入れ、寛容性を身につけていきたいと思いました。



## 図書館情報

教務部（若槻）

図書館での活動の様子を紹介します。

### 【読み聞かせ】

小中学部では、月に2回、地域の方にお越しいただき、読み聞かせが行われています。写真は、邑南町で読み聞かせを20年以上続けておられる日高さんに紙芝居や絵本を読んでいただいた様子です。

物語の絵や展開に反応を示しながら集中してお話を聞いていました。



### 【ストーリーテリング】

年に5回、昨年度に続き、今年度も「ちいさなろうそくの会」の皆さんにボランティアでお話の語りをしていただいています。

真っ暗の中、ろうそくの明かりを灯してお話を聞くことで、物語の世界を感じることができました。



図書館だより第3号はこちらです↑

## ～令和3年度3学期の主な行事～

- 1/11 (火) 始業式 11:30下校
- 1/31 (月) 児童生徒会選挙
- 2/ 2 (水) 高等部入試  
(高等部特別休業日)
- 2/ 5 (土) かがやきIWAMI (本校にて)
- 2/ 7 (月) 振替休業日
- 2/16 (水) 高等部入試合格発表
- 3/ 1 (火) 卒業おめでとう会
- 3/11 (金) 卒業式
- 3/24 (木) 修了式 離任式 13:00下校

## 高等部作業班販売会

### 「IWAMIマルシェ」

4回の販売活動を実施しました。たくさんのご来場、ありがとうございます。「次はいつするの?」「来年もあるの?」という嬉しい声もいただきました。

作業学習の製品を直接お客様に渡し、喜んでいただけたことは、これからの意欲につながります。

次は2月の「かがやきIWAMI」で販売します。

たくさんの皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。



## ～表彰～

第56回島根県硬筆書写コンクール 金賞

島根県特別支援学校総合体育大会  
卓球競技 男子シングルス 3位入賞

邑智郡陸上競技大会  
第73回邑智郡地域対抗陸上競技大会

優秀選手賞受賞  
中学～20歳未満100m

1位、2位入賞  
中学～30歳未満ジャベリックボール投  
1位入賞

他入賞あり